



# 議会だより

[題字] 宗近 咲月さん (安宅行政区・中2)

第128号

かわさき

平成29年11月1日発行  
福岡県川崎町



あつたか  
あたか彼岸花

▲あたか棚田彼岸花祭り (紹介はP16)

9月  
定例会議

防災センターの新設など認定	2
野菜レストラン管理者決定	4
7人の議員が登壇 ～ 一般質問 ～	6

今年度の議会だよりの表紙は、《大好き かわさき町》がテーマです。  
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください  
[お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



# 魚楽園来訪者に便利な道路改良、 地域防災センターの新設などを認定

**一般会計**

決算総額は、歳入108億3269万円、歳出96億7184万円で、翌年度へ繰り越すべき財源752万円を除き、実質収支額は11億5333万円の黒字決算となりました。「かがやけ川崎応援寄付金(ふるさと納税)」は、27年度の22万円から1億2260万円の大幅増となりました。

**民生費**

**35億4270万円**

障がい者の地域社会参加支援、子育てサークル事業など。

**総務費**

**11億8003万円**

人権研修、ニューイヤーコンサート、ふれあいバス運行、地域おこし協力隊3名増強など。

**土木費**

**10億1443万円**

豊州、大峰団地の建て替え事業、高見団地3号線など7カ所の道路改良・魚楽園進入道路改良など。

**衛生費**

**8億3821万円**

引き続き総合健康診査の無料化を実施、環境パトロールによる不法投棄監視、地球温暖化防止対策の一環として住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助など。

**教育費**

**7億415万円**

平成28年度から小学2、3年生を対象にした「土曜の風」(無料塾)を開始、加えて、中学校までを対象に放課後学習を引き続き実施、児童・生徒の学力向上に努めた。また、「翔けこども基金」を活用して総合学習の推進、児童生徒用防犯ブザーの購入。

**商工費**

**9411万円**

プレミアムつき商品券助成、創業セミナーの開設、盆踊り大会への助成、かわさきパン博など。

**農林水産費**

**9228万円**

中山間地域直接支払い事業(山間地の棚田など困難な耕作に対する補助)、荒廃した森林の整備、新規就農者支援事業など。

**労働費**

**1670万円**

本町独自の雇用対策として町道の草刈作業による雇用確保など。

**災害復旧費**

**約797万円**

豪雨に伴う災害復旧工事。

**歳出の主なもの**

**株式会社川崎 De・愛 経営状況**

(H28.4.1 ~ H29.3.31)

平成27年度までの繰越利益剰余金△1219万円に、平成28年度の単年度純損益△577万円を加え、平成28年度末の利益剰余金は△1796万円となり、資本金総額1900万円に対して、資本金残金は104万円でした。

また、平成29年度事業計画として、都市圏での農産物販売強化、収穫祭等のイベントを開催し集客増を図り、売上1億3,000万円を目指す報告がありました。

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

科目	金額(円)
A 売上高	3821万8054
B 売上原価	1351万0549
C 売上総利益(A-B)	2470万7505
D 販売経費等	3323万0045
E 営業損益(C-D)	△852万2540
F 営業外収益	301万0804
G 営業外費用	1万8035
H 経常損益(E+F-G)	△552万9771
I 特別利益	0
J 特別損失	5万3328
K 法人税等	18万2431
L 当期純損益(H+I-J-K)	△576万5530

平成28年度 **特別会計決算**

	歳入	歳出	実質収支	前年度末実質収支	単年度収支
学校給食センター	1億6031万円	1億6368万円	△336万円	△407万円	71万円
住宅新築資金等貸付事業	2628万円	5億8023万円	△5億5395万円	△5億6139万円	744万円
国民健康保険事業勘定	24億1473万円	29億8030万円	△5億6557万円	△6億885万円	4328万円
後期高齢者医療	2億636万円	2億320万円	315万円	301万円	14万円

**水道事業会計**

経営成績は、損益計算により経常収益3億8099万円、経常費用3億6071万円で、1975万円が当年度の純利益となりました。当年度が利益を計上出来た主な要因は、支払利息・動力費及び修繕工事費が減少したことによるものです。

平成29年度  
**補正**

## 保育士の処遇改善のための委託料 空家利活用推進事業など可決

**一般会計**

歳入歳出8億6702万円増

総額116億197円となる

**歳出の主なもの**

- マイナンバーカード等システム改修委託料 . . . . . 643万円
- 空家利活用推進事業 . . . . . 304万円
- 町制施行80周年記念事業 . . . . . 44万円
- 保育士の処遇改善のための委託料 . . . . . 3938万円
- 合併浄化槽設置に対する補助金(8件分) . . . . . 160万円
- 鳥獣被害防止総合支援事業助成金 . . . . . 91万円
- 財政調整基金積立金 . . . . . 7億8253万円
- 過疎地域自立促進特別事業基金積立金 . . . . . 3700万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

# 条例・計画・町道路線変更

## 川崎町野菜レストランの指定管理者が決定

中村産業株式会社が平成29年10月1日から平成34年9月30日までの5年間、野菜レストランの指定管理者に指定されました。

10月1日から開店準備にかかり12月1日開店を予定しています。



## 指定管理期間が変更

新たに川崎町野菜レストランの指定管理者を指定するため、指定管理期間を、平成29年4月1日から平成29年9月30日に変更するものです。

なお、農産物直売所および加工所は、平成32年3月31日まで引き続き株式会社川崎De・愛が指定管理をおこないます。

## 町職員の育児休業の範囲を拡大

国の地方公務員の育児休業に関する法律の中で保育所の空きがなく、入所出来ない場合、申込先の市町村からの証明をもらうことで育児休業を認めようとするものです。

## 川崎町中小企業振興基本条例の制定

町内の中小企業振興を促すことにより、産業および経済を発展させ、町民生活の向上を図ります。本町には、大企業はなく中小企業がほとんどで、この中小企業を大事にする自治体としての宣言です。

今後アンケート調査を実施し、中小企業の皆さんが求める施策など把握し、基本計画を策定します。

## 統合中学校の建設に伴い道路の拡幅、一部新設

平成32年4月1日開校予定の統合中学校の建設に伴い、登下校する生徒や中学校関係者、地域住民が安心、安全に通行できるよう町道路線の一部変更、新設をするものです。

自転車専用レーンや街路灯等を設置し、安全確保を考えた計画です。



## 川崎町立幼稚園の定員を変更

園児の減少にともない、

**定員120人 → 90人に改正**

平成30年4月1日施行

## 本町の空き家対策の基礎となる計画を策定

空き家の増加や住宅の老朽化に伴い、空き家の活用を推進するものです。

## 道路整備事業の補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書提出

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定により、道路や交付金事業の補助率の嵩上げ措置が平成29年度までの時限措置となっていることから、平成30年度以降も現行制度を継続するように関係機関に対し意見書を提出しました。

# 平成29年度 第4回川崎町議会(9月定例会議)

## 議案一覧と賛否結果

議案番号	案件名	賛否の結果											関連記事
		手嶋真	松岡	繁永	大谷	西山	千葉	谷口	小田	見月	手嶋原	櫻井	
報告第9号	株式会社川崎De・愛の経営状況について	報告のため採決はありませんでした											P2
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(中島勝美)	(適任) 簡易表決											
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(福貴 秀)	(適任) 簡易表決											
議案第7号	川崎町教育委員会委員の任命について(瓜野かをり)	(同意) 簡易表決											
認定第1号	平成28年度川崎町一般会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決											P2
認定第2号	平成28年度川崎町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決											P3
認定第3号	平成28年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決											P3
認定第4号	平成28年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決											P3
認定第5号	平成28年度川崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	(認定) 簡易表決											P3
認定第6号	平成28年度川崎町水道事業会計決算認定について	(認定) 簡易表決											P3
議案第8号	川崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決											P4
議案第9号	川崎町空き家対策基本計画について	(可決) 簡易表決											P4
議案第10号	川崎町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例について	(可決) 簡易表決											P4
議案第11号	川崎町中小企業振興基本条例の制定について	(可決) 簡易表決											P4
議案第12号	町道路線の変更について	(可決) 簡易表決											P4
議案第13号	平成29年度川崎町一般会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決											P3
議案第14号	平成29年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決											
議案第15号	平成29年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決											
議案第16号	平成29年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	(可決) 簡易表決											
議案第17号	平成29年度川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	(可決) 簡易表決											
議案第18号	平成29年度川崎町水道事業会計補正予算(第1号)について	(可決) 簡易表決											
発委第1号	道路整備事業の補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書の提出について	(可決) 簡易表決											P4
議案第19号	指定管理者の指定期間の変更について	(可決) 簡易表決											P4
議案第20号	指定管理者の指定について	(可決) 簡易表決											P4

賛否表の表示は、○賛成、●反対、⊕欠席、⊖退席、⊗除斥(じよせき)となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

※除斥とは…利害関係のある議員を、その議案の審議に参加させないことです。

# 一般質問

よりよいまちづくりを  
めざして

問  
答

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。



谷口 武雄 議員

## 問 中学校統廃合後の跡地活用は

## 答 県支援学校高等部等 検討中

**議員** 2020年には3校あった町の中学校が計画では1校に統合され、2校が廃校になります。現在まで統合後の廃校跡地の活用計画が示されておりません。町長の考えは。

**町長** 正直に申し上げて、現在のところ統合中学校の建設に向けての作業で精一杯ですが、廃校後の2つの中学校をどうするかという事について、池尻中学校につきましては、昨年の7月に県の教育委員会に対し、田川地区における県立特別支援学校高等部の新設に関する要望書を提出させていただいております。また鷹峰中学校の関係であります。現在、大峰ふれあいセンターに、炭鉱の関連資料、歴史資料、埋蔵文化財等、収納しております。

鷹峰中学校に歴史資料館的なものを設置して、地域住民の皆さんにもっと閲覧をしていただける環境をつくりたいと、現在、検討している状況でございます。

## 問 公立小中学校の避難所機能は

## 答 防災センターとの連携を検討

**議員** 近年、九州を含む全国的に人的災害が起こっております。また先日は北朝鮮によるミサイルが北海道上空、渡島半島上空を通過し危機的状況が続いております。

教育長におたずねしますが緊急時の小中学校避難所機能は。

**教育長** 川崎町小学校4校と中学校3校の7校とも避難所に指定されてます。

現在のところ小中学校には緊急用の携帯トイレやマンホールトイレ、非常用の自家発電等の設備は備えておりません。

今後、防災センターと学校の連携を考え検討して参ります。



松岡 久代 議員

## 問 川崎音頭の現状は

## 答 十分な協議の上、浸透に取り組む

**議員** 町制70周年事業の一環として川崎音頭の振り付けコンテストがありましたが、現状は。

**町長** 炭坑の全盛期に公募で作られた歌です。平成20年に町制70周年と文化連盟創立20周年を記念して川崎音頭を再現させたい気運が高まり、当時歌詞も譜面も見あたらず記憶を寄せ集めて完成させ、歌手の井上愛さんに歌っていただきCDを作成、苦勞して川崎音頭が復元できました。

この際振り付けをして、町民の皆さんにシンボルとして親しんでもらおうと振り付けを公募し、コンテストで最優秀に選ばれた作品は文化連盟を中心に各地域や団体に講習会を開催し普及に努め、一定の浸透が図られた状況です。

**議員** 正午になると川崎音頭のメロディーが流れていますが、町民は音楽が流れているくらいにしか思っておらず、川崎出身の歌手井上愛さんのCDができていないことさえ知らないと思います。歌詞を広報に掲載すれば納得します。町制80周年に向けてどのように普及させるのでしょうか。

**町長** 町民としても、川崎音頭ができ、踊りの振り付けまでできた状況ですので、もっと普及させる考えは持っております。踊りが難しすぎて普及しづらいということもございまして、当時の振り付けの先生に普及版として今までの踊りを基本にして簡単な踊りを考え

ていただきました。これだったら、皆さんが踊れる感じを持ち、来年は町制80周年・文化連盟創立30周年の節目の年、この普及版の踊りをしっかり覚えて頂き、町民各層に浸透していくよう取り組みを進めたいと思っております。

## 問 小梅ちゃんキャラクターの拡充を

## 答 小梅ちゃんをもっと活用していきたい

**議員** 川崎町のイメージキャラクターである小梅ちゃん以外に思案があるかお尋ねします。

**町長** 特別に小梅ちゃん一本でいきたい。

**議員** 他県に赴く折、手土産として田川饅頭を持参したところ、田川は分かっても焼印の意図が分からないと言われたので、月と煙、煙突、ボタ山と説明し、炭坑節の一説「月が出た出た」と口ずさむと相手も納得しましたが、歌手が川崎出身の赤坂小梅さんとはご存じないようです。川崎町でも特産品を開発しているそうですが、進捗状況をお尋ねします。

**町長** 地域おこし協力隊の皆さんが頑張っておられ、一つは商品化出来るようなものもあり、これからもっと磨きをかけ、本格的にDe・愛の加工所を改造して作業が出来るような取り組みを考えています。

**議員** 米粉を使って研究しているようですが、小梅ちゃんのキャラクターの焼印が押せる饅頭や煎餅、小梅ちゃんマスコットの消費に繋がるようにしていただきたいです。

近隣の市町村で商品化しているものを調べた事がありますか。

**町長** 調べたことはありません。

**議員** 昭和30年から40年にかけて、炭坑閉山と共に仕事を求め巣立って行った方々も、小梅ちゃんと炭坑節は切ってもきれないものがあると思っています。

宣伝次第では、ふるさと納税に繋がると思いますが、意気込みをお聞かせください。

**町長** 小梅ちゃんをもっと活用して、色んな取り組みを進めていこうと思っています。小梅ちゃん饅頭やお菓子、意見として出て来ましたが、そういう方法もあると感じました。一日も早く特産品作りを進めて行くとともに、ふるさと納税の返礼品として活用出来れば、本町の宣伝にも繋がりますので、しっかり検討します。



川崎町キャラクター  
小梅ちゃん



## 問 特老施設認可の意見書を提出しなかった理由は

答 事業者選定に瑕疵があると判断した

**議員** 高齢者福祉政策についての考え方は

**町長** 高齢者福祉政策について具体的な項目での質問でないので、一般的な考え方で答弁をします。

これまで長く日本のために貢献していただいた方が今日体調を崩したり、極めて困難な状況であれば、将来的に不安を解消して快適な環境の中で生活できる取り組みをすべきと考えます。

**議員** もっともな回答であります。川崎町で60床の特老建設予定が決まっていた。

小田町政の時福岡県に意見書を提出、29年度事業化される予定だった。

手嶋町長は、福岡県に意見書を出されなかった。どのような理由で出さなかったのか。

**町長** 特別養護老人ホームの申し込みの提出期限は27年4月から28年6月15日までです。27年4月は町長選挙がありました。選挙が終わって新しい町長が判断すべきところを、当時の町長職務代理者がまともな告示の手続きも経ないまま、任期残りの1カ月で、特定1社だけを対象にバタバタと決めて4月28日に県に提出しています。この様な事で選定の段階で瑕疵があったとして、判断した次第です。

**議員** 手嶋町長の考え方と前小田町長では、同じ執行部でも選定の考え方が違いますね。高齢者

の福祉介護保険がスタートしたのも家庭が崩壊しないための介護保険のスタート。

特に特老関係は、家では見られない方々を施設に預かり、健全な家庭を営んでいただくのが本来のあり方。60床を川崎町が辞退したのは、いかなる理由があるが大変な問題。60人の高齢者が施設に入れるのを門前払いした責任は大きい。町長は瑕疵があった。後日の問題で事前協議書、施設の建設、予算、周囲の状況、環境調査、最低200万円以上の資金がかかる。福祉法人を形で上げ厚生委員等々の名簿も付け出したのに、川崎町の辞退届があった。その責任は大きいと思います。

この問題につきましては、後日私の意見にもとづいて、町長の責任を追及する。

## 問 焼却灰処分場の跡地利用は

答 現在、土地購入の要望がある

**議員** 焼却処分場の予定地を中止。各首長の中で産廃があった。答弁の余地が無く私の責任において信託を受けた。後日議会の報告があった。2億円近いお金を国に返還する事にいった。その用地の利用はいまだ何も検討もされていない。

**町長** 川崎町単独の焼却場は中止致しました。そのため単独の最終処分場用地も不要となりました。そのため1市7カ町村の最終処分場にも一時は検討致しましたが、県の方から不適格用地と指摘されこの案が消えました。

なお、現在、土地購入の要望があります。

## 問 他町村からの生活保護申請者は、いらないと聞いた、今の考えは

答 住民が必要な場合は当然お勧めします

**議員** 町長は前期の時に他町村から川崎町に来て、保護の申請をする方は要らないと言った、今の考えは。

**町長** 一時期川崎町の生活保護の受給世帯が異常に多いという事がマスコミで集中的に報道され、ある週刊誌がこれを大きく取り上げました。そんな時、電話で川崎町に行けば、生活保護が受けられ、町営住宅も借りられるという事を聞いたが事実かとの問い合わせがあり、そんな事はない。そんな目的で川崎町に来る事は迷惑だと言った事はあります。

しかし川崎町に現に住んでいる方が何らかの理由で生活保護を受けざるを得ない場合には、当然の事ながら、それで生活を立てていくことをお勧めします。



## 問 農業後継者育成のための施策は

答 新たな組織を立ち上げ解消を図る

**議員** 農業は今や深刻な高齢化の問題を抱えております。農家の平均年齢は68.5歳、ほぼ70歳に近い年代が一所懸命頑張って農業に従事してることになります。

今後どのように、農業後継者についての施策を行っていくのか、町長に伺います。

**町長** 現在の農事小組合に加入している方は610世帯おりますが、2015年の農業センサスの数値で経営耕地面積が0.3ヘクタール以上の農家は246世帯でした。耕作面積では0.3ヘクタール以上0.5ヘクタール未満の方が51世帯。0.5ヘクタール以上で、1ヘクタール未満の方が114世帯。1ヘクタール以上2ヘクタール未満の方が51世帯と経営的にも厳しい農家が90%近くを占めておるといのが現状です。

こうした状況の中で親の後を継いで、農業をしようとする方は年々減ってきているというのが実態です。

今後は農業法人を設立して、できるだけ経費の掛からない比較的運営しやすい形で、新たな組織を立ち上げることや農作業の受託などを行う会社を設立し、耕作放棄地や遊休農地の解消等を図っていかねばいけないと考えています。

## 問 国民健康保険証カード化の早期実施を

答 平成30年度からカード化に向け準備を進める

**議員** 他の自治体では国民健康保険証の個人カード化が進んでいます。本町の個人カード化は平成31年度までに実施とされています。

社会保険が個人カード化され、国民保険の加入者は不便と感ずるのは当り前のこと、費用対効果の面も含めて国民健康保険証のカード化を早期に実施すべきだと感じますが、町長の考えを伺います。

**町長** 国民健康保険証のカード化のご質問ですが、福岡県下60市町村のうち、今だカード化されていないのは現在9市町村となっております。川崎町もその一つです。

平成30年度からカード化に向けて、現在準備を進めてる状況です。



## 問 安宅交流センターの宿泊整備は

答 特別教室を活用する調査検討をおこなっている

**議員** 現在の条例では安宅交流センターは、研修目的の宿泊は可能となっていますが、宿泊施設としては基準があいまいであり、火災や緊急事態が発生した場合の対処が危惧されます。

現在、安宅交流センターでは研修目的として、毎年800人以上の方々が利用されています。一番重要なことは、利用する側の安心安全が一番です。

今後の安宅交流センターの宿泊施設について、町長の考えは。

**町長** 安宅交流センターには明蓬館高校が開校されておりまして、同一の建物での学校と旅館との運営は建築基準法上、用途取得が非常に困難であるということがわかりました。

消防法令の基準は満たしておりますけれども、不測の事態に対処できるものと考えております。

今センターと隣接しております特別教室等の耐震診断を実施したところ、耐震基準が満たされておりましたので、この特別教室等を活用した宿泊施設の整備に向け、現在、調査検討を行っている状況です。



櫻井 英夫 議員

## 問 美しいまちづくりにどう対応するの

答 ゴミ減量への住民啓発を粘り強くやる

議員 田川広域ごみ処理施設が大任町に建設されることで住民の環境意識が薄れることを懸念しています。そこで、

- ①ごみ減量化、分別収集、リサイクルなど今後どの様に取り組みますか。
- ②河川環境保全、水質向上のための環境推進員、アドバイザー設置を提案します。
- ③真崎De・愛周辺を更に魅力ある場所にするため、もっと工夫してはどうですか。近接河川の土砂堆積への対応は。

町長 ①大任町での新焼却場は4年後の平成33年に稼働予定。ごみ減量への啓蒙啓発は大変難しいですが、マイバック使用推進、資源回収施設増設、生ごみ処理容器普及などに取り組みたい。

②町の環境基本計画にもとづき合併浄化槽普及など推進したい。環境アドバイザー制を導入し環境イベントを実施することも検討したい。

③De・愛周辺の環境整備は用地確保が難しく停滞しましたが、今後も計画すべく努力します。河川の土砂除去は引き続き県とも協議して実施します。

## 問 町の審議会は有効機能していますか

答 整理改廃も検討

議員 町の各種審議会に形骸化が感じられますが、審議会の現状と活性化についての見解は。

町長 民主主義の観点から審議会を設置し、住民の意思反映を図るとしています。本町には56審議会、432人の委員、再任率36%、報酬等の予算総額は約1300万円となっており、今後整理改廃する必要もあると感じています。

## 問 中学統合後の廃校活用策を今から

答 まずは検討する体制づくりを考える

議員 「中学統合で手一杯、廃校活用策は後で」と午前中答弁がありました。川崎特別支援学校移転改築への活用も良策です。不登校、ひきこもり生徒を教育する全寮制小中学校を誘致してはどうですか。まずは、検討する体制づくりをして下さい。

町長 検討のための体制づくりを図って行きたい。



## 問 児童の体育向上に陸上記録会開催を

答 町民マラソン大会復活を起爆剤に

議員 本町児童の学力低下が問題視され様々な対策が講じられている一方、体育が手薄になっていませんか。中学では中体連が機能しています。小学校でも陸上記録会を実施してはどうですか。

教育長 これまで児童対象のスポーツ大会を色々と増やし成果も上げていますが、陸上競技、特に持久走は確かに弱いところがあり、今年はマラソン大会を復活させました。



手嶋 真由美 議員

## 問 自主防災組織を増やしていく予定は

答 取り組みを進める

議員 地域住民の安全を守り、命を守るためには共助の役割を担う防災対策が不可欠です。

今後自主防災組織を増やしていく予定はありますか。

町長 新たに安宅行政区に自主防災会が結成され自助・共助の活動の取り組みが行われています。今後も行政区などへご協力を頂くよう取り組みを進めていきたい。



## 問 女性視点のハンドブックの作成を

答 防災マップ改定時に検討

議員 防災対策に女性や高齢者にもわかりやすい防災のノウハウをまとめる「女性視点の防災ハンドブック」の作成をすべきではないでしょうか。

町長 今後防災マップ等を改定する際に検討していきたい。

## 問 緊急医療情報キッドの配布を

答 積極的に検討していく

議員 緊急の事態が発生した時や災害時に役立つ「緊急医療情報キッド」というのがあります。

緊急受診時に必要な医療情報などを保管するものです。本町でもぜひ高齢者や障がい者の方々などに配布すべきではないでしょうか。

町長 万が一災害が発生した場合、状況が把握できる点では大変参考になると思いますので、積極的に検討します。

## 問 特定健診、総合健診の受診率向上の取り組みは

答 さらに努力し進めていく

議員 6月から行われている特定健診・総合健診の受診率向上の取り組みはどうしてますか。

町長 総合健診のお知らせを「広報かわさき4月号」の織り込みチラシで全戸配布、5月から9月の期間は広報かわさきの紙面で掲載し、国民保険の健診対象者には訪問して受診勧奨を実施しています。

## 問 お風呂で使える乳がんチェックシートの配布を

答 配布方法などを検討

議員 女性の日の受診日が5回ありますが、今後増やしていく事は可能ですか。

健康づくり課長 増加について住民からの要望もあります。

今後検討していきたい。

議員 本年度から乳がん検診での視触診は除外されています。手軽にお風呂で使える乳がんチェックシートの配布をしてはどうでしょうか。

健康づくり課長 乳がん検診の自己触診をするうえで大変役に立つと聞いています。今後は予算や配布方法など、どのような方法で配布するか検討します。



▲乳がんチェックシート



その他…LGBT・LGBTQへの理解促進について質問いたしました。



千葉 加代子 議員

## 問 手話言語条例の制定を

## 答 条例制定に向け検討する

**議員** 多くの自治体が登録手話通訳者の増加、学校での手話教材の導入、遠隔手話通訳システムの導入等を図っています。本町の手話通訳者は何人ですか。

**社会福祉課長** 社会福祉課の窓口には一人ですが、入門講座修了者が3人います。

**議員** 他の自治体では、聾啞者から事前に議会傍聴の希望がある場合、手話通訳者を派遣することになっていますが、本町の場合、お願いできますか。その際、窓口で聴覚障がい者がお見えになった時の対応はどのようにしますか。

**社会福祉課長** 通訳者が必要な時は、事前に相談いただければ対応できるかと思えます。

町に手話通訳者要約筆記者派遣事業というのがあり、申し込みがあれば、通訳者が出向しています。

**議員** 現在、101の自治体が、手話言語条例を制定しています。条例制定は、共生社会の実現に大きな成果を上げています。本町でも制定に向け取り組んでいただきたいが。

**町長** 条例を制定している市の制定後の成果等、調査をしながら本町としても条例制定に向け検討してまいりたい。

## 問 鮎返り付近に公園の設置を

## 答 役場の周辺で設置を検討

**議員** 城山に公園の設置をする計画がありますが、高齢者や乳幼児を連れた家族には手軽に利用できません。鮎返り付近は整備も進み、車も近くに止めることができ、少し手をかければ川を利用した自然公園に適した場所になります。アイデアを出し、川崎町の特色を出した公園の設置をお願いしたい。

**町長** 以前、計画がありましたが、用地買収が困難ということでした。城山子どもの森は、幼児が遊ぶのには少し難があるので、来年度は、川崎町こども広場を役場付近に建設したいという構想もっております。

**議員** 雪舟ロードの利用が少ないので、De・愛、魚楽園、雪舟

ロード沿いの川を開発し、楽しみながらウォーキングできるような計画は。

**町長** 安宅川と黒木川の合流地点の蛍や中央公園のコンクリートのベンチの移設、De・愛下の川にカヌーを浮かべたりして、活用がもっと活発になるような状況をつくっていききたい。

## 問 教師の勤務実態の把握を

## 答 詳しく実態把握し、配置を検討

**議員** 文科省の教員勤務実態によると、中学校教諭の6割が過労死ラインに達するというので、教員の多忙化が問題になっています。本町の実態把握は。

**教育長** 個々のデータはありませんが、朝7時前から来る先生、帰りは10時を超える先生も何人かおられます。

**議員** 「学びっこ」は、本来、地域ボランティアが携わるようになっていまして、「チャレンジ教室」もまだ、担任が指導しています。成果をあげるためにも講師の派遣をお願いしたいのですが。

**教育長** 本年度、町雇用の先生が7人おられますが、それだけでは厳しい状況で、中学校の補習は、やっていただいておりますが小学校は担任制であり、勤務状況を詳しく実態把握いたしまして、どのような配置の仕方が良いかということも検討させていただきたい。



雪舟ロード▶

# もっと知りたい 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します



議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



## 地方創生の取り組みの成果は

総務常任委員会

### 今後の財政収支の状況は

提出された資料によると、10年後の財政収支は、一般会計決算、赤字再建団体の指標となる連結決算のいずれも黒字という試算結果が示されましたが、委員からは人口減少に伴い収入についても減少が見込まれることから、試算結果に対し疑問の声が出されました。

これに対し、地方交付税は5年間一定の金額が見込まれ、過疎債等の借入償還額の一部が交付税として補填されることを勘案して試算した。投資的事業についても、今後必要なものを精査して事業を進めていきたいとの回答がありました。

委員からは、町有財産の捕捉と有効活用による自主財源の確保、行政改革を推進し、臨時や嘱託職員を含めた人件費の抑制を図っていただきたいとの意見が出されました。

### 地縁団体を有する行政区への指導管理は

地縁団体の法的根拠、設立許認可の流れ、設立許認可の権限を持つ町の権限、不祥事防止に関するルールづくりについて、説明を受けました。

委員からは、地縁団体等に会計上の不祥事が発生した場合、町にも何らかの対処や責任が生じるのではないかと意見が出されましたが、地方自治法に、認可を受けた地縁団体を行政組織の一部と解釈してはならないという規定があることから、町として関与はしないとの回答がありました。

委員会からは、会計上の不祥事防止のため、年に一度、総会の決算資料の提出や研修会の実施を要望しました。

平成27年度には国の100%補助による地域消費喚起・生活支援型事業として、観光イベントやプレミアム商品券、総合戦略の策定、雇用対策、食農支援、空家対策、新規就農者支援等の事業を実施しております。また、田川地区の振興、発展を図るため、田川市郡一体となって取り組んでいる20項目にわたる広域連携事業の平成27年度までの成果と、5年後の目標値を示した資料が提出され、説明を受けました。

委員からは、若い職員が増えていることから、若い人の意見を取り入れながら、魅力的なまちづくりに向け、今後も努力していくよう要請いたしました。

### 豊前川崎駅業務直営後の成果と今後の対応は

現在、3名のJRのOB職員を雇って駅業務を行っており、勤務時間は午前6時45分から午後5時45分までとなっています。

平成28年度の駅業務の収支は、駅業務委託料等のJRからの収入が257万円、これに対し賃金等の支出は361万となっています。

担当課長からは、駅員がいることで、無人化の駅と比べて明るいイメージがあるとの報告がありました。

委員からは、駅裏を含めた駅周辺の整備計画の策定、駅業務終了後も最終列車到着までトイレが使えるようにしていただきたいとの意見が出されました。



▲豊前川崎駅



## 廃校舎の利活用とは

いいかねPalette (パレット)にて、廃校舎利活用状況を、福智町出身で省庁勤務経験もある代表の大井氏にご説明いただきました。

このビジネスモデルは、ドラえもんをヒントに、何でもできる、どこでもできる、誰でもできるをコンセプトに、音楽制作、コワーキング、宿泊をメインに、現在は、外国人観光客等からの宿泊予約殺到により運用費用の大部分が賄われています。

大井氏の持論では、石炭六法により町の質、人の質が落ち、過剰保護な政策が、田川成長の阻害要因になったのではないかと、働かなくても食べていける大人、勉強しない子が多く、所得も学力も最低レベル、この状況を根本から変えるため、都会のような夢のある仕事や学校を作りたいということでした。

私たちができることを質問したところ、連携して欲しい、スタートアップライブラリーはきっかけで、筑豊全体の創業支援の受け皿になりたいとお答えいただきました。

現に、行政、企業との連携、九州大学の外部キャンパス設置等リアルな企画が立案され、数億円規模の利益を計画し運営されており、ふるさと田川を愛する地元活動に共感し、意義ある視察になりました。



▲旧猪金小学校

### 町立幼稚園改修工事説明

外壁、屋根防水、シャワーバス等設置工事について、園児への影響をおさえるため、夏休み期間中にできる限り工事を行うことや、エアコンを活用した暑さ対策等の説明があり、感染症、カビ対策に空気清浄器、安価で涼しく過ごせる同時吸排出できる換気扇設置を助言しました。

### ごみ持ち込み方法変更

ごみ持ち込みが許可制になります。まず、本町が導入することにより、田川市も賛同することが期待されますが、田川市が多数派である清掃施設組合内で、川崎の意見をしっかりと説明するよう要望しました。

## 民生文教常任委員会

### 小学校改修工事

池尻小学校改修工事を視察し、授業の妨げになる工種は、夏休み中にできる限り行うと報告を受け、耐用年数の過ぎた保安設備等のチェックを要望しました。

### 町立図書館視察

空調改修工事を終え、快適な環境であることを確認し、さらに軽飲食スペース設置を提案しました。

### 学童クラブの状況

東小学学童クラブを視察し、指導員から、グラウンドの草が伸び、蛇がでて危険、雨天の体育館使用を求める声があり、町長、教育長に対しても同様の要望書を提出しました。

次に、川小学学童クラブを視察、指導員から、トイレ不足、学習差のある低学年と高学年の部屋を分けたい、児童のけんかによりテレビが壊れ、今後けがをさせないか心配する声がありました。

町内3校の保護者や先生からの相談に対し、スピード感を持って対応すること、以前から指摘していた、指導員の低い処遇や、基準内でもケースにより指導員が不足する点等が今後の大きな課題です。



▲川小学童にて

### 中学校統合スケジュール

仮校舎建設、現校舎解体、運動場整備、駐車場整備、新校舎建設等工事計画の説明を受け、学校、先生、子ども、PTA、議会の意見を反映させる場を設けるよう要望したところ、3中学校長、教頭、全小学校校長、各小中学校担当教諭、各PTA会長等で構成される統合中学校準備委員会で、意見要望をお伺いする場を設けたいと回答がありました。

今後も状況の説明を受けながら、要望・提案を行い、情報の共有に努めてまいります。



## 川崎町のお土産を開発中

## 建設産業常任委員会

今年度、地域おこし協力隊が北九州の里山商會にコンサルを受けながら、特産品の開発に取り組んでいます。

小麦アレルギーの方でも食べられるように米粉を使った商品などを手掛けると報告を受け、当委員会はアレルゲン除去商品と一緒に一般商品の開発もおこなうよう要望しました。

また、手に取った人が買いたくなるような瓶やパッケージもぜひ検討していただきたい。

そして1つでも川崎町のお土産として、早めに売り出すことができるよう要望しました。

### 林道の状況は



▲ニタント林道の崩れた部分



▲林道に飛び出ている木の枝

本町には3本の林道があり、なかでも安宅のニタント林道は、舗装もされず行き止まりで、雨のあとの現地調査であったため、道もぬかるみ崖が崩れているところなど一部危険な箇所や側溝の蓋も盗難にあい無くなっている状況があったため、定期的なチェック、管理をおこなうよう指摘しました。

林道は、年に1箇所ローテーションで業者に委託し側溝の掃除などおこなっているようですが、交通に支障を及ぼす木の枝が飛び出しているところなど早急に整備を行うよう言及しました。

今、工事を行っている熊ヶ畑・安真木線は川崎町が平成30年度で工事を終了し、嘉麻市側は平成31年度に終了予定です。

### 耕作放棄地どうする、今後の対応は

遊休農地の発生防止・解消を推進していくこと、遊休農地となった場合の対策などについて説明を受けました。

8月10日より農業委員会と農林振興課が農地パトロールを行い、今年も荒廃農地は増える可能性があるとの説明がありました。

昨年も農地パトロール後に対象農家には、意向調査を行いました約半数が無回答です。

今年は、無回答のところに農地利用最適化推進委員が訪問し、回収や相談をおこなう考えであると報告を受けました。

また、荒廃農地に対し農地ではないと確認できるところは、できるだけ非農地証明を出し農地からはずしていききたいとのことです。

当委員会より、説明や手続きの際にはスムーズにおこなえるよう指導や助言を要望しました。

農地パトロール終了後、遊休農地や荒廃農地の解消をどのように進めていくのか対策を報告していただきたい。

遊休農地や荒廃農地など荒れたままでは、イノシシやアナグマなどの住み処になります。有害鳥獣との関連は非常に強いと考えます。農業委員会と農林振興課が連携をはかり対策をおこなっていただきたい。

今後も耕作放棄地や有害鳥獣対策について、継続して調査を行っていきます。

## 議会の傍聴においでください

### 次回定例会(予定)

- ◎12月 5日…本会議(初日)
- ◎12月 8日…本会議(中日)
- ◎12月13日…本会議(一般質問)
- ◎12月14日…本会議(最終日)

8月より玄関に本会議や委員会の開催を掲示する取り組みを開始しました。



川崎町議会ホームページ <http://www.gikai-kawasaki.com/> 川崎町議会 検索

## あたか棚田彼岸花祭り

9回目を数える安宅棚田彼岸花祭りは、安宅交流センター会場・古民家カフェ会場・棚田彼岸花会場・彼岸花群生地の4つのエリアにさまざまなお店が出て、お祭りを盛り上げます。

今年は残念ながら台風の影響により、祭りイベントは中止になりましたが、台風通過後の10日間を「安宅彼岸花ウィーク」として開催、おかげさまでたくさんの人に彼岸花の魅力を楽しんでいただきました。

地元では、すでに来年に向けた準備が開始され、彼岸花だけでなく、棚田や大自然の魅力も伝えていけるように取り組んでいます。ぜひお越しください。



彼岸花祭り事務局より

## 追跡レポート

### 防災無線は機能しているか

今回は、災害時に住民にいち早く情報を伝達するための防災無線を取り上げます。

平成27年6月議会(手嶋真由美議員)

#### 下校時の地域への見守り放送の実施を

平成27年6月29日(月)から15時に放送開始、現在も継続しています。



平成27年12月議会(松岡久代議員)

#### 防災無線の聞き取りにくい世帯への対応を

個別受信機(大きさは約15cm×22cm) ↑

防災無線個別受信機を250台購入し、区長、消防団、個人に現在219台貸し出しています。残りが30台ありますので、希望される方は、防災管財課までお申し出ください。また川崎町無線放送の音声案内(0800-200-2575)が無料で利用できます。担当課では、スピーカーの向きを変えたり、音量調整をしていますが、大きくすると苦情が出るということで、苦慮しているようです。

## 編集 後記

九州北部豪雨災害の爪痕が癒されることなく不安な毎日を送っている住民の方に比べ、平穩無事を喜びながらも他人事とは思えない災害に備え非常食3日分は是非用意しておきたいものです。備えあれば憂い無しです。



- |      |      |      |      |      |        |       |      |
|------|------|------|------|------|--------|-------|------|
| ● 委員 | ● 副委員長 | ● 委員長 | ● 議長 |
| 員    | 員    | 員    | 員    | 員    | 員      | 員     | 員    |
| 樋口秀隆 | 寺田響  | 小田卓  | 大谷清  | 松岡久代 | 手嶋真由美  | 千葉加代子 | 北代俊雄 |
- 【発行責任者】
- 【議会だより編集特別委員会】